プレスリリース
PRESS　RELEASE
2022/9/26

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

# 「潜在景色」

## —Latent Scenery—

2022 年 11 月 19 日(土)～2023 年 3 月 5 日(日)

西野壮平《利根川―前橋の街と赤城山》　2022 年

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

## はじめに

写真は目の前に見えているもののみならず、その場所に潜む見えない何かをとらえています。雄大なランドスケープや身近な街の風景、何気ない日常生活の一場面をとらえた写真が、その場所の歴史的、社会的な背景や、そこに流れてきた膨大な時間、記憶の痕跡を想起させます。「見えるもの」と「見えないもの」とは、写真のみならず、芸術における根源的なテーマでもあります。

本展はそうした写真の見えないものをとらえる力に着目し、前橋をはじめとする群馬全域、さらに広域にわたるエリアを作家それぞれが独自の視点でとらえ、多様な手法を用いて表現した最新作を含めて構成しています。見過ごされているものや、場所が内包するものへと眼差しが向けられていくことで、見慣れた自然や街、日常の風景の中に潜在的な景色が現れてきます。

## 開催概要

タイトル：潜在景色　（英文タイトル　Latent Scenery）
出品作家：石塚元太良、片山真理、下道基行、鈴木のぞみ、西野壮平、村越としや

会　場：アーツ前橋　地下ギャラリー
会　期：2022 年 11 月 19 日（土）～2023 年 3 月 5 日（日）
休館日：水曜日、年末年始（2022 年 12 月 28 日（水）～2023 年 1 月 4 日（水））
　　11 月 23 日（水・祝）開館、11 月 24 日（木）休館
開館時間：10:00 - 18:00（入場は 17:30 まで）
観覧料：一般 600 円／学生・65 歳以上・団体（10 名以上）400 円／高校生以下無料
※障害者手帳をお持ちの方と介護者 1 名は無料　※2023 年 1 月 9 日(月・祝)前橋初市まつりのため無料

主　催：アーツ前橋
助　成：一般財団法人ぐんま食と歴史文化財団、公益財団法人朝日新聞文化財団
協　賛：株式会社原田・ガトーフェスタ ハラダ
協　力：公益財団法人前橋観光コンベンション協会、群馬県、みなかみ町観光協会、
　須藤牧場、特定非営利活動法人赤城自然塾、上州文化ラボ、rin art association、
　タカ・イシイギャラリー、KOTARO NUKAGA、白井屋ホテル、株式会社フレームマン、スガ アート
後　援：上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばし CITY エフエム、前橋商工会議所

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

# 本展の見どころ

1. 本展をとおして、写真が目の前の被写体をとらえるのみならず、不可視の背景をも内包していることを示し、「見えるもの」と「見えないもの」について意識を傾け、世界にあらたな眼差を向けることで「潜在的な景色」を知覚することを促します。
2. 本展に向けて、写真家たちが当館の位置する前橋を中心として、さらに群馬県内全域や作品のテーマ関連する地域を訪れ、撮影した作品から、写真家たちの眼がとらえた前橋および周辺地域の現在、さらに知られざる風景や地域が潜在的に持っている可能性やその魅力が見えてきます。
3. 国内外での活躍目覚しい気鋭のミッドキャリア作家たちが、これまでの作品、およびその延長線上において撮影、制作した本展に向けての最新作を発表する貴重な機会となります。
4. ストレート・フォトグラフィから、タイポロジー、コラージュ、ステージド・フォトグラフィ、インスタレーションといった多様な表現手法を用いた作品を紹介します。
5. ギャラリー１（１F）で同時開催する「朔太郎と写真」展では、萩原朔太郎の撮影による大正から昭和にかけての前橋の街を紹介し、２つの展覧会をとおして、前橋および周辺地域の過去と現在を見ることができます。

# 関連イベント

※参加方法：全て事前申込制　参加費：無料（要観覧券）

**アーティストトーク**　　会場：アーツ前橋 スタジオ

① **石塚元太良＋西野壮平**　　2022 年 12 月 18 日（日）　14:00-16:00

② **村越としや＋鈴木のぞみ**　　2023 年　2 月 25 日（土）　14:00-16:00

**ワークショップ**

① **下道基行**　「見えない風景」

日時：2022 年 12 月 3 日（土）10:00~16:00　　会場：アーツ前橋周辺地域

② **鈴木のぞみ**　「潜像を可視化する」

日時：2023 年　2 月 4 日（土）10:00~16:00　　会場：アーツ前橋周辺地域、アーツ前橋 スタジオ

**担当学芸員によるギャラリートーク**　　会場：アーツ前橋 地下ギャラリー

日時：2022 年 11 月 23 日（水・祝）、2023 年 1 月 28 日（土）、3 月 4 日（土）　14:00~15:00

**おしゃべりアートデイズ**（対話型鑑賞プログラム）　　会場：アーツ前橋　地下ギャラリー

日時：2022 年 12 月 17 日（土）、2023 年 1 月 21 日（土）、2 月 18 日（土）　14:00~14:40

◎詳細はアーツ前橋 HP をご確認のうえ、お電話 027 230 1144（代表）にてお申込みください。
◎事前申込制のイベントは定員に達し次第、締め切らせていただきます。
◎新型コロナウイルス感染症の状況により、変更・中止となる場合がございます。

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

## プレス向け　内覧会・ツアー

【期　日】2022 年 11 月 18 日（金）
【時　間】13:00～18:00　内覧会
※13:30 より「朔太郎と写真」展出品作家と担当学芸員によるツアー
14:30 より「潜在景色」展出品作家と担当学芸員によるツアー
※ **要事前申込　下記 FAX 申込書により（E-mail 添付でも可）**

## FAX 申込書

**FAX: 027-232-2016　E-mail: artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp**

| | |
|---|---|
| 貴社名：　　人数：　　名 | |
| 部署名： | 担当者： |
| 所在地：　〒 | |
| ＴＥＬ： | ＦＡＸ： |
| Ｅ-mail： | |
| **※参加予定のツアーに印を付けてください**<br>□13:30～「朔太郎と写真」プレスツアー　□14:30～「潜在景色」プレスツアー | |

## お問い合わせ先

前橋市役所文化スポーツ観光部文化国際課　アーツ前橋
担当：上田、堺（広報担当）、北澤（学芸担当）
〒371-0022　群馬県前橋市千代田町 5-1-16
TEL : 027-230-1144　FAX : 027-232-2016　HP：https://www.artsmaebashi.jp/
E-MAIL : artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

交通案内

●公共交通機関

JR「前橋駅」北口から徒歩約 10 分

上毛電鉄「中央前橋駅」から徒歩約 5 分

●自動車

関越自動車道「前橋 I.C.」から車で約 15 分

※地図内Ⓟマークの駐車場のご利用に関しては駐車券に割引処理いたします。

# 出品作家 略歴

**石塚元太良**　　1977 年生まれ、東京都出身・在住
パイプライン、氷河、ゴールドラッシュなどを特定のモティーフとして独自のランドスケープを世界中で撮影するスタイルは、コンセプチュアル・ドキュメンタリーとも評され、ドキュメンタリーとアートの間を横断するような手法で、時事的な話題に対しての独自のイメージを提起している。近年は、印画紙による立体物や、多層に印画紙を編み込んで制作するモザイク状の作品など、写真が平易な情報に取り込まれている SNS 時代の写真表現における、空間性の再解釈を促すような作品を制作している。2004 年日本写真協会賞新人賞、2014 年東川写真新人賞を受賞。2011 年には文化庁在外芸術家派遣員としてフィンランドで滞在制作を行う。
2022 年には「Domani2022-2023 明日展(国立新美術館)」にも参加予定。
　本展に向けては、廃業したガソリンスタンドを同じフォーマットで撮影し続けている最新シリーズを発表する。群馬県内でスタートした同シリーズの撮影は全国的な展開をみせている。

**片山真理**　　1987 年生まれ、群馬県出身・在住
2012 年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修士課程修了。先天性の四肢疾患により 9 歳の時に両足を切断。身体を模った手縫いのオブジェや立体作品、装飾を施した義足を使用しセルフ・ポートレイト作品を制作。自身の輪郭をなぞれば、他者に続き、小さな暮らしから社会、世界へ、糸と針はパッチワークのように様々な境界線を縫い繋げていく。「第 58 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展　企画展」(2019 年、ヴェネチア)、「あいちトリエンナーレ 2013」(2013 年、愛知)などの国際展へ参加、2021 年にはヨーロッパ写真美術館（パリ）で個展「Home Again」が開催されるなど、国の内外の展覧会に多数出品している。第 45 回木村伊兵衛写真賞を受賞（2020 年)。
本展では、2014 年と 2015 年の 2 回にわたり、アーツ前橋の竪町スタジオにレジデントとして滞在し、前橋の商店街やスタジオで撮影した作品を中心に出品する。

**下道基行**　　1978 年生まれ、岡山県出身、香川県在住
日本国内の戦争遺構の現状を調査する「戦争のかたち」(2001-2005 年)、祖父の遺した絵画と記憶を追う「日曜画家」(2006-2010 年)、日本の国境の外側に残された日本の植民／侵略の遺構をさがす「torii」(2006 年～）など、展覧会や書籍、ワークショップなどで発表を続けている。フィールドワークをベースに、生活のなかに埋没して忘却されかけている物語や日常的な物事を、写真やイベント、インタビューなどの手法で編集することで視覚化する。2019 年「第 58 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 日本館」参加作家のひとりである。「Re-Fort Project」(2004 年～)、「新しい骨董」(2014 年～)、「旅するリサーチラボラトリー」(2015 年～）など、グループ／コレクティブでのプロジェクト活動も多い。2019 年より≪瀬戸内「　　」資料館≫を企画・監修し、「館長」に就任。
本展では、新たに前橋で見つけ撮影した「橋」を加えた〈bridge〉のインスタレーションとともに、ワークショップ「見えない風景」を前橋市内中心部の商業地域で行う。

**鈴木のぞみ**　　1983 年生まれ、 埼玉県出身・在住

写真の原理を通して、何気ない日常の事物に光の痕跡として潜む潜像のような記憶を可視化することを試みている。2011 年頃より、窓ガラス自体に窓越しの風景を直接焼き付ける作品制作や、扉の鍵穴など生活環境の中の「穴」を利用したピンホール印画の作品の制作など、日常生活のなかに在る多岐にわたる事物を制作に用いている。窓ガラスや鏡、食器、望遠鏡、メガネなどに直接定着されたイメージは、かつてそれらが在った場所において人知れず生成されていたイメージであり、日常の風景が主観を越えた視点でとらえられている。2018 年にはポーラ美術振興財団在外研修員としてイギリスにおいて研修、2022 年、東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。

本展に向けて、前橋市内中心地で取り壊される直前のかつて理容店兼住居であった建物の窓ガラスや鏡などから見えていたであろう風景を撮影し、その場所に流れていた時間やそこでの記憶を想起させる新作を発表する。

**西野壮平**　　1982 年生まれ、兵庫県出身、静岡県在住

世界中の都市を自らの足で歩き、撮影した膨大な写真を、自らの旅の記憶をもとにコラージュし、作り上げる独自の地図、<Diorama Map>シリーズを長年にわたり制作し続けている。近年はイタリア北部を横断する川「IL PO」や、「東海道」、「富士山」などさらに対象の幅を拡げ、意欲的に制作活動に取り組んでいる。ICP トリエンナーレ(2013 年、ニューヨーク)への参加や 2016 年にはサンフランシスコ近代美術館で個展が開催されるなど、国の内外で多くの展覧会に参加している。キヤノン写真新世紀優秀賞(2005 年)、日本写真協会新人賞(2013 年)など、受賞も多数。

本展にむけては、「利根川」をテーマに約 2 年間をかけて大水上山の源流から山間部、前橋市内を経て、群馬と埼玉の県境に沿って太平洋に注ぐ銚子の河口までを巡り、利根川およびその周辺のさまざまな景色を撮り下ろした 44 のグリッドで構成される最新作を発表する。

**村越としや**　　1980 年生まれ、福島県出身、福島県／東京都在住

2001 年から写真を撮りはじめる。2006 年以降は故郷の福島を主な被写体とし、そこで過ごした自身の記憶をなぞるように継続的に撮影を行う。2011 年の東日本大震災以降はより重点的に福島の撮影に取り組み、近年は福島と東京を拠点に活動している。写真のもつ記録性を重視し、風景の変化と矛盾、人々の視覚的な認識の違いなどを静謐でありながら力強い風景の中に見出だそうとしている。これまでに多くの写真集を出版、2009 年には自主ギャラリーを設立するなど、写真を発表する手段、場についても意識的である。2014 年には武蔵野市立吉祥寺美術館で個展を開催、2011 年に日本写真協会賞新人賞、2015 年にさがみはら写真新人奨励賞を受賞した。

本展に向けては前橋市内各所で撮影を行った。被写体はこれまでにも村越がとらえてきたモティーフの延長線上にあるものも多いが、そこには前橋の現在が浮かび上がってくるような景色を見ることができる。

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

# 広報用画像

【1】

【2】

【3】

【4】

【5】

【6】

## 記事掲載についてのお願い

・掲載にあたっては、展覧会名と会期を表記してください。
・画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
・掲載記事や VTR は、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
・取材及び収録等の際は、必ず事前にお問い合わせください。

アーツ前橋
ARTS MAEBASHI

# アーツ前橋「潜在景色」広報用画像申込書

**アーツ前橋　広報担当　宛　FAX　027-232-2016**

**ご希望の画像の番号に〇をつけてください。画像(JPEG)をメールにてお送りいたします。**

＊本展覧会の広報を目的とする場合に限り、提供致します。個人のブログ等への掲載や鑑賞等を目的とする場合には提供できません。

＊掲載にあたっては、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。

| 番号 | キャプション・クレジット等 |
|---|---|
| 【1】 | 石塚元太良　シリーズ＜GS_＞より　2022 年 |
| 【2】 | 片山真理　《25 days in tastumachi studio ／あじさい》　2015 年 |
| 【3】 | 下道基行　シリーズ〈bridge〉より　2011 年～ |
| 【4】 | 鈴木のぞみ　《Trace of the Light (部分)》　2014 年 |
| 【5】 | 西野壮平　《利根川―前橋の街と赤城山》　2022 年 |
| 【6】 | 村越としや　〈神鳴り、山を赤く染める〉シリーズより　2022 年 |

## 媒体情報　＊できるだけ詳しくご記入ください。

| | |
|---|---|
| 媒体名： | |
| 発行日： | 発行元： |
| 貴社名： | |
| 部署名： | 担当者名： |
| 所在地：　〒 | |
| ＴＥＬ： | ＦＡＸ： |
| E-MAＩＬ： | |